

## R 3年度花き消費者研修寄せ植えコース第1回を開催しました

令和3年6月2日(水)、寄せ植えコース第1回「初夏の寄せ植え作り」を開催しました。講師はNPO法人Green Fieldsの吉川三枝子さんと瀬戸淳子さんです。

講師から、寄せ植えに使用する培土には有機質や赤玉土、鹿沼土など土の物理性を良好にする資材を混ぜると良いが、混ぜる量は植物の種類と管理する人の性格によってかん水の量や頻度が変わってくるので変えても良いとのことでした。

寄せ植えする花の種類ごとの特性を説明した後、講師による実演がされ、根鉢の位置をあわせて植えること、水をためるウォータースペースを確保するための土を入れる位置、根鉢を崩して植えこむ物等に説明がされました。

受講生個々が寄せ植えを作成した後、今回寄せ植えしたペチュニア、ベゴニア、サルビアは肥料吸収量が多いため、葉が黄化したら窒素不足になっているので、液体肥料で追肥を行い、種を実らせないように花柄摘み、切り戻しを行うようにとの説明を聞いて今回の研修は終了しました。

受講生からは土の成分を知ることができ、人間と同じで植物も環境が大事、改めて基本的な事が知ることができましたとの感想がありました。



使用する花材について説明



寄せ植え作成後、今後の管理について説明